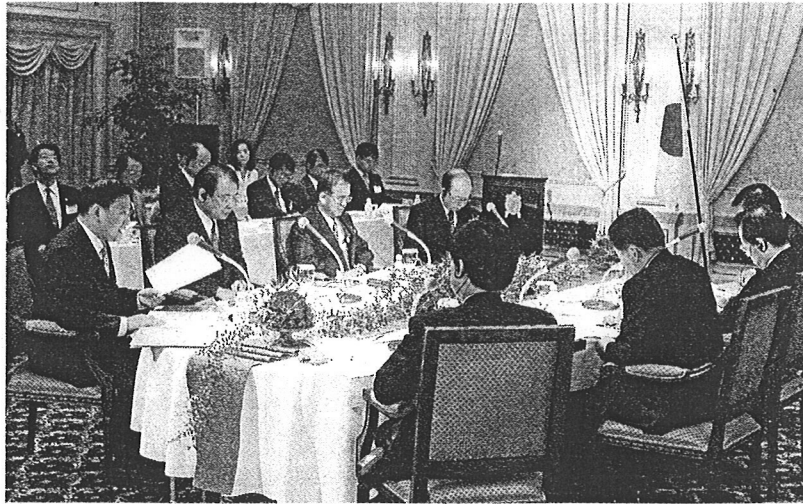




日韓知事サミットの交流会議で発表する古川知事
(左) 佐世保市のハウステンボス

佐賀で青少年サッカー

05年開催 日韓知事サミット合意

第十二回日韓海峽沿岸県市道知事交流会議(日韓知事サミット)が三日、佐世保市のハウステンボスであり、ワールドカップサッカー共同開催を記念して取り組む「日韓海峽青少年サッカー大会」の第二回大会を二〇〇五年に佐賀で開催することなど、六項目の合意事項を共同声明にまとめた。

会議には佐賀、福岡、長崎、山口の四県と韓国南岸一市三道の知事らが出席。それぞれの重要施策や将来ビジョン、共同交流事業の推進状況などを報告し、今後の方向性について意見交換した。青少年サッカー大会は

来年、釜山広域市で第一回大会を開くことが決まっており、佐賀は日本側の最初となる第二回大会の開催を提案、了承された。サミットに参加する八自治体の中学生が夏休みに佐賀を訪れ、スポーツ交流を展開する。

このほか、姉妹校締結など学校間交流や福祉分野の交流推進に向けて協議することを確認。韓国と佐賀を結ぶ案が最適とされる日韓トンネルについて、慶尚南道が建設促進を強く訴えたが、各自治体の意見が分かれ、

共同声明には盛り込まなかった。初参加となった古川知事は交流会議で、韓国旅行の思い出話などを交え、気さくな人柄をにじませた。異色のスピーチを披露。人気を集めた韓国映画「シユリ」やドラマ「冬のソナタ」にも触れ、若い世代の知事として親善友好を発展させる決意を示した。実施策では、知事特別

補佐に元駐米大使の柳井俊二氏を迎えたことなどを紹介。今後は行政主導から「住民やNPOとの協働」を意識した取り組みに転換する重要性を強調した。次回は来年、慶尚南道で開催される。(大隈)